

第三者委員会議記録簿 平成21年度下半期

社会福祉法人・春生会

施設長	兒玉 邦彦	出席者	第三者委員	岡 清子	野村 紘子	司会者	兒玉 邦彦
			保育事業部主任	小谷 祐子	出口 方子	記録者	岩切 加寿子
			記念事業部主任	押川 美保子			
			春生事業部主任	中萬 裕美			

開催場所	施設長室						
開催日時	平成 22年 2月 16日 (火) 13 時 30 分 ~ 14 時 40 分						

議題							
1. 各部門より(H21.7.21以降の)苦情についての報告							
2. 報告内容についての協議							
3. その他							

各部門報告内容							
乳児保育部	新園舎に移り、朝の送迎時、車をとばして危ない。						
幼児教育部	担任が子供を叱ったところ、保護者より事情を聞かれた。						
記念事業部	(希望山荘)・・・苦情としてあがったものは特になし。						
	(希望楽苑)・・・苦情としてあがったものは特になし。						
	相談として・・・ 介護用品の支給について						
春生事業部	(ケアプラン)・・・ 不幸があったお宅に年賀状を出してしまい「人の心の痛みの分からない人に介護ができるのですか」との意見						
	(訪問)・・・ 個別援助計画書の「本人及び家族の希望」欄で息子さんの言葉の内容を奥様が見られて気を悪くされた						
	(春生倶楽部)・・・ 一日ドライブの時失禁があり、送りの際その事と「体調が悪い時は休ませてください」と伝えたとこ、そういうことを言うのは介護の仕事をしているものとして、おかしいと言われた。						

協議内容							
・・・小学生の通学時間は一週間職員が園前に立ち、様子を見る。							
・・・保護者と園長との話し合いにより納得された。1週間後、主任よりその後を確認したところ、以前より担任との関係もよくなり良かったとのこと。							
・・・地域包括支援センターに連絡をとり、諸手続を行い、介護用品支給が決定された。							
・・・今後十分気をつけることを説明し納得していただいた。事務と現場との連携をとるよう話し合った。							
・・・担当ケアマネと謝罪に行き納得していただいた。							
・・・職員間で反省会を行い、管理者と指摘を受けた職員で謝罪に行った。							

特記事項							